

2019 年度(平成 31 年度)
事業計画

社会福祉法人 豊友会

2019年度(平成31年度)基本方針

一人ひとりを大切に、子どもの成長と保護者支援と共に、

職員確保・人材育成環境のより一層の充実・整備

「本年度の約束」

保育・教育内容の絶え間ない見直しと実践

保護者と共に子どもの成長を育み、保護者連携を深める

情報共有と専門性の向上

働き方を改善し、やりがいと働きやすい環境の構築

「思いやりの心」「感謝の心」を大切に「笑顔」と「元気」な日々の創造

1. 概況

1-1 重要課題

幼児教育無償化への対応や子育てを取り巻く環境、保育・教育の向上性が著しく変化していく中で、地域に密着した活動展開をいかに推進すべきであるのか、過渡期を迎えている。

地域特性が大きく異なり、待機児童対策などへの貢献を通じて、多地域多施設多機能化を進める一方で、日本の人口減少傾向は止まらず、少子高齢化への対応が必要になっている。

法人及び各施設の中長期計画を策定し、将来ビジョンを設定しつつ、日々の保育・教育の充実を行っていくことが重要となってくる。

経営基盤である保育士・保育教諭確保、育成についても、地域格差が広がってきている。各施設における保育・教育目標をしっかりと策定し、働きやすい職場環境を構築することがより一層大切になってきている。

法人としては、保育・環境の整備充実投資、職員一人ひとりがキャリアパスを理解し、やりがいも持った制度を構築し、施設との役割分担を明確化する体制を進めるものとする。

主な課題として、時代に即応した保育・教育の実践、ICT化の推進等事務業務の改善、本部と施設の機能分化と役割の充実、新規事業への取り組みなどを通じて、一層の安定基盤の確立に努めたい。

2000年(平成11年)4月にチャイルドハウス保育園が開園して以来20年を数え、新たな中長期計画を策定し、サンタ(多地域多施設多機能)の特徴ある法人経営を模索し、継続的に発展するための取り組み(後継育成、研修等)の強化を行うこととし、平成から新たな時代の幕開けを迎えることとしたい。

1-2 施設開設

2019年4月(平成31年)4月より、豊岡地区において「スプリングハウス保育園」を開園し、待機児童対策への貢献としたい。

阪神地区において、村雨こども園隣接地を土地買収し、2020年4月開園を目指した「村雨こども園なぎさ分園(仮称)」開設を目指し、新園整備計画を推進することとしたい。

首都圏においては、2019年(平成31年)4月より「さいたま保育園」の定員増が実施され、夜間・休日保育の本格的な実施が予定されている。また、現在地元自治体と諏訪ひかり保育園分園(若しくは増築)について協議を進め、必要に応じて整備を進めることとしたい。

1-3 法人機能

多地域展開を行うなかで、本部の役割が一層重要性を増すと共に、施設との役割分担の明確化を一層進め、円滑な経営・運営を行うことが肝要となっている。2018年のさまざまな課題を抽出し、PDCAサイクルが円滑に機能するような体制整備に努めることとしたい。

本部体制強化の一環として、本部機能の集約を進め、効率化を図ると共に、企画・人事、事務、経理に再構築・統合し、多層防護を施すことにより、ミスのない体制づくりを実施する。

1-4 法人と施設の役割、機能分担

法人と施設の役割、機能については、毎年の課題であり、本年こそ整理整頓する。エリア及びエリア間での情報共有を進め、業務改善をすすめる。

1-5 法人理念及び保育方針・保育課程の浸透

法人理念、保育教育方針・目標の設定、浸透を図り、地域ニーズに即した活動展開を基軸に、法人としての一層の充実を目指すものとする。

2. 重点施策

2-1 人材育成

① 施設長等管理職育成

- ・施設長の役割、心得周知
- ・研修強化

② 主任保育士・主幹保育教諭等中堅管理職育成

- ・中堅管理職の育成プログラム

③ 新任職員育成

- ・新任職員研修プログラム
- ・チューター制度の活用

④ 法人事務職員等専門性の向上

- ・法人事務職員プログラム
- ・専門性向上研修

⑤後継者育成

2-2 処遇改善

① 基本給等の安定的収入の向上

- ・基本給の明確化（調整手当等の整理）

② 職務手当・役割手当などの適正化

- ・役割に応じた手当の支給

③ 賞与などの適正配分

- ・賞与支給の配分基準

④ 非常勤職員の処遇改善（該当職員への賞与支給・退職金支給）

- ・被扶養範囲内での申し出職員への対応（退職金支給制度創設検討）
- ・担任等常勤職員と職務内容が同一な職員への賞与支給検討

⑤住宅手当の増加

- ・行政施策の積極的な導入（平成32年度以降対応の検討）
- ・住宅手当の割増（阪神拠点、さいたま保育園・2万円→3万円）

⑥処遇改善Ⅰ及びⅡの適正執行・配分

- ・処遇改善への取り組みシステム化

2-3 人材確保

①行政施策の積極活用（神戸市の優位性、自治体施策の調査・要望）

②保育実習生への対応見直し

- ・実習生へのレクチャープログラム
- ・茶話会等懇談の場提供

③施設によるイベント・就職フェアでの内容検討

- ・地域や大学との連携
- ・就職フェアの内容改善

④地域における各施策の実施・検討

- ・就職祝金（10万円）
- ・引越費用の支出（15万円～30万円）
- ・保育士紹介（紹介者へ1年勤務後支給8万円）

⑤ WEB の積極的な活用

- ・ホームページ
- ・検索機能強化

⑥ 保育士の日

2-4 就業規則・給与規定・キャリアパス

- ①キャリアパスの策定と各種規則の抜本的な見直し・改定
- ② 人事評価体制（評価者育成・研修等含む）
- ③面談時期・体制の見直し

2-5 保育・教育の質向上

- ①施設における保育・教育目標の明確化
- ②保育目標への具体的な取り組み PDCA サイクルの確立
- ③ 保護者・家庭への説明責任
- ④地域貢献
- ⑤必要不可欠な存在

2-6 スケジュール管理

- ① 会議の効率的な開催・周知
- ② 計画的な実践
- ③ 理事会・評議員会・施設長会議等の定例化
- ④ 期日厳守

2-7 情報共有

- ① 法人と施設の情報共有
- ② 施設間の情報共有
- ③ ネットワークの活用と情報保護

2-8 中長期計画の策定（将来ビジョン）

- ① 法人全体としての中長期計画の策定
- ② 施設の中長期計画の策定
- ③ 策定プロセス（委員会設置等）

3. 法人と施設の機能分担・役割

3-1 法人と施設の役割・機能

法人本部の事務局機能の再編統合と共に、施設との連携、円滑な経営・運営の遂行に向けた取り組みを強化する必要がある。エリアや施設の特性を活かしつつ、本部機能との連携を図り、ガバナンスをしっかりと行う体制を構築する。

（1）施設で主に行うもの

- ① 保育料(利用料)等の収納方法、ダブルチェック
→収納方法の見直し
- ② WEB の活用
→各施設で WEB 活用、ホームページ構築、更新⇄法人とのリンク

(2) 法人・施設の役割見直し、円滑化

① リクルート(求人関係)

→求人戦略の抜本的な見直し

② 人事管理(入職・退職業務の厳格化)

→入職・退職業務の円滑化

③ 各種連絡業務(情報保護の徹底、セキュリティ・イントラネットの再構築)

→法人としてのセキュリティ強化

3-2 法人本部

法人本部を再編・統合し、「法人事務」「経理」「企画・人事」に再構築し、業務の効率化を図る。施設事務との緊密な連携を取るよう体制を構築する。

【責任を持った対応】＝【期日内での応答】を是とする体制を構築する。

(1) 法人事務

理事会、評議員会、コンプライアンス委員会など各種の会議の開催準備、議事録作成を行うと共に、行政関係資料の作成、提出を行う。その他、行政関係、団体関係対応を行う。

(2) 経理

予算及び決算を編成する。日常の経費支払、給与支払業務、補助金申請(法人関係)を掌握し、月次試算表を策定し、元帳等を作成、整理する。その他、各施設の経理関係を掌握、指導する。

施設との連携を強化し、予算遂行状況について、月次の連絡連携を強化する。

(3) 企画・人事

① 人事関係書類を整理し、社会保険や雇用保険等を管理する。

② 入職、退職時の関係書類対応を行う。

③ 給与に関しては、各施設と連携して、給与明細を作成し、経理へ提出する。

④ 広報活動、採用関係を統括する。

⑤ 各施設と連携して、行政機関、各団体との対応を行う。

(4) 新規事業

新園開設、新規事業については、当面の間、理事長特命として、各エリアで対応する。

3-3 施設事務

(1) 施設事務

各施設で行うべき事務について、現状把握を行うと共に、多層防護・ダブルチェックを励行し、利用者等に迷惑のかからない体制を確立し、業務の標準化を推進する。

園長、主任等と連携して施設事務を掌るものとする。

① 受付事務

- ② 一般事務(各種受入・申込受理処理、軽微な書類作成)
- ③ 利用料等の確認(必要に応じて入金チェック)
- ④ 収納金融機関等との連携
- ⑤ 請求書・領収書の整備
- ⑥ 出勤簿、超過勤務
- ⑦ 給与明細の配布
- ⑧ 現金出納・管理
- ⑨ 職員関係書類の整備
- ⑩ その他

(2) 本部との連携

施設事務を遂行する際に、本部との連携を密に、情報保護の徹底と共に、ミス遺漏のないように注意する。

現状マニュアル等を確認し、期日を厳守すると共に、日々の業務改善、効率化に努める。

(3) 業務改善

法人及び施設の役割分担、機能に関しては、常に業務改善を心がけ、ヒューマンエラーの最少化、ダブルチェック体制の整備、環境充実を目指すものとする。案件については、本部事務会議、施設長会議（各地域含む）等を通じて、協議を行い、業務の円滑化に向けた体制を整備し、実行する。

4. 事業推進体制（理事会・評議員会等）

2019年度は社会福祉法人制度改正2年目を迎え、理事等の改選等を行う時期となっており、業務の見直し、改善を一層進めていく必要がある。

法人と施設の機能強化及びガバナンスの整備、コンプライアンスの充実を確実に進め、内部統制・情報保護・情報共有の充実を図り、従来不明確であった業務内容を整理し、効率化、事業の積極的な推進を図るものとする。

各地域の事情を考慮しながらも、法人理念を確認・周知し、地域・施設に合致したマニュアル策定・見直し、事業推進を行うものとする。

(1) 理事会（理事長召集）

事業計画・報告、予算・決算など基本計画を策定し、評議員会等で承認後、事業の円滑な運営を行うための執行機関としての役割を担うことになる。

施設の実態に即した経営を心掛けると共に、法人全体としての調整・推進を行う体制を整備する。理事会は、年6回程度開催予定。

(2) 評議員会

事業計画・報告、予算・決算などを審議し、最終決済機関であり、年2回程度開催する。理事を選任すると共に、執行機関である理事会からの提案について、審議を行う。

(3) 評議員選任・解任委員会

評議員を選任・解任する機能を有する。ガバナンス、人事について全体を把握し、必要に応じて、評議員を選任若しくは解任する。理事会において選考された評議員候補を審査し、決定する。

(4) コンプライアンス委員会

コンプライアンスの構築及び内部統制・情報共有、情報保護、職員の処遇等に関する諸課題について、助言及び提言を行い、必要に応じて職員への啓発活動を積極的に推進する。コンプライアンス委員会は、年2回以上開催する。

(5) 施設長（園長・代表・園長代理等）会議

各施設の責任者による状況連絡、情報交換を行うと共に、業務改善について協議を年4回程度行う。（理事会、コンプライアンス委員会時同時開催含む）

(6) 法人事務会議

法人本部各担当による会議を行い、業務の進捗状況を確認すると共に、各施設の状況等に関して、情報共有し、調整する。

円滑な運営、健全経営、業務改善等に向けた具体的な施策、計画推進、実践活動に結び付ける。毎月1回開催予定。

(7) 各施設職員会議（各園開催）

保育、行事、避難訓練、報告、各種会議の報告・協議内容、研修報告、ケース会議など全職員が参加して、毎月1回開催する。必要に応じて、理事長が出席する。

① 会議については、各施設で設定を行い、円滑な運営を行う。

② 給食・食育会議、クラス会議、その他会議の開催については、園長若しくは園長補佐、主任の了解を必要とする。

*いずれの会議、委員会については、「会議のための会議にならないように、保育などの内容の充実に結びつくような」実践的な内容を心得、事前に資料準備等を行い、効果的、効率的な運用を行うものとする。

*年間の会議スケジュールを計画し、円滑な業務推進を図るものとする。

5. 諸規定の見直し・改正及び業務推進の改善

5-1 社会福祉法人制度改革の定着・推進

社会福祉法人制度改革について、法令遵守を確認すると共に、随時改善を図る。理事、評議員等の役割、機能について、実践的な取り組みを行う。

5-2 経理・会計の充実

社会福祉法人会計が新会計基準に移行し、平成28年度決算より適用されているが、検証を加え、会計監査人の導入対応を行うものとする。

5-3 役員報酬規程の見直し

役員数が260名を超え、法人機能の強化と共に役割の見直し、事業推進体制を構築するために、理事業務について明確化し、役員報酬の改正を行う。

5-4 内部統制

ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）に代表される業務の円滑な推進に対するの取り組み姿勢を大切にしながら、「文書化」を徹底し、記録をしっかりと行う共に、ダブルチェックを十分に行うこととする。

また、意思決定についても、なお一層円滑化を図るものとする。

5-5 情報共有・セキュリティ強化

法人⇄施設、施設⇄施設の情報共有を徹底し、認識を深めると共に、それぞれの良い部分を見出し、各施設の運営に役立てるものとする。

平成29年度に整備したネットワークシステムを活用し、フォルダ、文書管理を徹底し、事務の効率化を図ることと共に、セキュリティ強化のための諸施策を実施する。必要に応じて改善を図る。

5-6 外部監査等

外部監査に関しては、平成17年度より取り組んでおり、年2回の監査を行っている。会計面を中心に透明性を高め、適正で尚且つ円滑な運営体制を構築する。会計監査人制度の導入に向けた取り組みを行い、公認会計士への対応、選任も含めて検討する。

5-7 顧問弁護士

ガバナンス、コンプライアンス関係の事案が多くなっていることから、顧問弁護士契約を見直し、改善を図ると共に、有効に活用し、円滑な運営、職員の安心感を増加させることとしたい。

5-8 労務管理

社会保険労務士とコンサルティング契約を行っているが、有効性等を検証し、役割について検討を加えていくこととする。必要に応じては、選任についても見直しを行い、円滑な労務管理、事務遂行が出来るような体制を整備する。

5-9 産業医

職員の健康管理は、非常に重要な課題であると共に、安心安全な職場環境の構築は非常に重要である。2018年度より産業医の契約を行っているが、安全衛生委員会の設置、運営などの適正な運用が求められる。

今後は、公認心理師（臨床心理士・カウンセラー等）の対応を含めて検討する。

5-10 第三者評価

第三者評価に関しては、2018年度諏訪ひかり保育園で実施しているが、質の向上の観点からも必要な事項である一方で、地域においては評価機関が希薄であるなどの課題もあり、検討を要する。

各施設において、必要性を再確認し、具体的な実施計画の策定(実施目標年度)を行い、いずれにしても、各種マニュアル、手順書の整備、改善等を通じて、円滑な運営、保育の充実を目指し、研修等を実施していくこととする。

ヒヤリハット事例をはじめとする、さまざまなケーススタディや安全対策を実践する。障がい児や特別に配慮支援を要する子ども(いわゆるグレーゾーンの園児・児童)への対応、業務効率化への対応、職員の相互理解・コミュニケーションの充実など現状の課題を理解しながら、諸課題に関して積極的な研修に努めていきたいと考えている。

6. 職員処遇改善への取り組み(重点施策の整合検証)

平成29年度に取り組んだ、キャリアパスの制定・処遇改善、資格取得研修制度の充実について、2019年度の重点施策として取り組んでいく所存であるが、検証や改善を進めると共に専門性の向上を図る。

具体的な取り組みとして、行政の諸施策への迅速な対応も行い、職員が働きやすく、充実した環境になるよう取り組み、福利厚生面のなお一層の充実を期し、コミュニケーションの一層の充実、メンタルヘルスケアに対応した研修、環境整備に努めることとしたい。

6-1 キャリアパス

保育士等専門性を高めるため、平成27年度よりキャリアパスの基本作成、平成28年度一部修正、平成29年度には保育士・保育教諭に関して基本策定されたが、各施設での対応、他の職種(管理栄養士・栄養士・調理師、看護師、事務職、園務等)については、最終検討中であり、標準化と共に、地域事情、施設に応じた実践的な体制を構築し、給与規定の整備、研修制度の充実など積極的に推進する。

6-2 職員カテゴリーの拡充

働き方改革、ワークライフバランスを尊重すると共に、所得税等の制度改正に伴う環境の変化に対応した、職場環境の整備に努め、平成30年度には一層の改革を進め、一人ひとりの充実した人生設計の構築の一助となるような取り組みを行いたい。

6-3 就業規則・給与規定の見直し、制定

働き方改革や処遇改善に伴う諸規定の見直しを行い、就業規則、給与規定に

関して改善を継続するものとする。法人としての identity を大切にしつつ、地域事情を鑑みた規定の整備を推進する。

- ① 基本給に関しては、俸給表の見直しと共に処遇改善手当の充実を期するものとする。(基本給+処遇改善手当=基本俸給)
- ② 諸手当については、住宅手当の拡充等を行うと共に、昨年度に引き続き、諸手当の改定を行い、抜本的な見直しを行うこととする。
- ③ 学生支援機構の奨学金受給者が返済を行う際に、一定の補助を行うことなどの制度創設の検討、調査を行い、具体的な検討を行う。

6-4 資格取得研修制度の拡充

地域の実情に鑑みながら、施設ごとに保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事任用資格等資格取得を奨励した資格取得研修制度を拡充し、研修休暇や受講料助成などを行うこととする。

児童厚生員(指導員)、子育て支援員、大型免許取得など法人が認めた資格についても拡充する。

6-5 有給休暇・特別取扱いの充実

有給休暇の取扱いについて、柔軟性を増した取り組みを行うと共に、10日以上の有給休暇所持者に対して、年間5回以上の義務化(2019年度より)を行うと共に、取得率の上昇を推進する。

- ① 夏季休暇有効期間の延長(4月~9月)
- ② 特別休暇期間の使用期間中の取り扱い強化(4月から可能)
- ③ 年休取得について、対応可能な施設においては、「半々休(2時間程度)」の年休取得を認めること。(運用上の課題)
- ④ 有給休暇の在り方、特別休暇増加の検討(2020年度以降)

6-6 福利厚生 of 充実

職員が、地域内の法人施設を利用する場合(病児病後児保育室、一時預かり事業など)に関して、一定割合の補助を検討し、実施可能な地域より取り組みを行うものとする。

平成28年度より、職員処遇の改善の一助として、メットライフ生命とアライアンスを組み、職員傷害保険などの充実を行うと共に、病気時のセカンドオピニオン、メンタルヘルス、カウンセリングなどを活用できる取り組みを行う。

平成30年度より、産業医の委嘱を行うと共に、2019年度には、各地域における公認心理師・心理カウンセラーの配置検討を行う予定である。

6-7 自己申告・PDCAについて

年間の当初目標の設定を明確にして、PDCAサイクルを大切にしたい態勢を整備

する。年間2回行っている自己申告、面接等に関する実施方法を検証し、風通しのより組織作りを心掛ける。

7. 2019年度研修

専門性の向上と共に、メンタルヘルスなど健康面やまた楽しさを持った研修、コンプライアンス研修を企画、計画を行っていき、有意義な研修を継続して行う予定である。キャリアパスに沿った形での研修もあり、勤務体制、現場での対応を含め具体的な研修計画は必要不可欠である。

管理職研修をはじめ、中間管理職、新入職員など職域、職階に合わせた研修を行うことが何より重要であり、具体的に取り組むこととする。

各施設においても、地域特性、現場ニーズに応えたユニークな研修の取り込み等を行うようにする。

7-1 法人研修

法人職員としての基本姿勢を学び、その基本として、

- コミュニケーション、チーム力アップ研修
- コンプライアンス研修(個人情報保護等含む)
- 「相手への思いやり、言葉遣い」「仕事への取り組み姿勢」
- 職員個々のメンタルヘルスケア
- 業務効率に関するスキルアップを主な課題として取り組みたい。

7-2 施設研修

専門性を向上させながら、互いに協調し合っ、関係するすべての人が「笑顔」になるような取り組みが必要であると思われる。

(例示)

- 園児・利用者・関係する家族の目線を大切にした取り組み
- 基本技術のマスター(保育・教育に関する基本・繰り返し演習)
- ケーススタディの強化と共に予防策の構築
- 実践的な取り組み事例、情報交流
- ピアノ研修
- パソコン研修

*各施設で実践的な研修計画の策定

7-3 研修対象

新入職員、中堅職員等を対象ごとの研修プログラムを構築し、外部講師等を招いた研修、内部のOJT研修等を積極的に行うこととしたい。

7-3-1 管理職研修

管理職として必要な知識やスキルに関する研修を行い、情報交流を交えて、それぞれの施設の質的向上を図るものとする。

- コンプライアンス委員会への対応
- 管理職としての心構え・基本知識(表情、発言に対する重み・・・)
- 言葉遣い、部下との接し方
- 保護者対応、新入園児への対応
- 国や県・市への対応
- 地域での活動

7-3-2 中堅職員研修

副主任、専門保育士・保育教諭、チーフとして、現場の責任者として、迅速な対応や判断が求められる。管理職との相談も重要な場面もあるが、培った経験力、知恵によることも多く、気をつけるべき課題について、現場力増強研修を特に進めていく。

- 「伝える力」増強＝保護者や上司・部下とのコミュニケーション
- 「判断力増強」いざという時の判断力は一朝一夕に出来るものではなくケーススタディなど実践的な研修

7-3-3 新入職員

1年目～3年目を対象に、基本的なスキルの充実を図ることを主眼として、自信を持って職務を全うできるような実践的な取り組みを行う。OJTを中心に、それぞれの専門性を高めることとしたい。

- 社会人としての基本的な心構え⇒法人職員としての自覚と責任
- 専門職にいきる実践的なスキルの修得(OJT)
- ITスキル、個人情報保護などへの理解浸透
 - * チューター(メンター)の配置(学卒者を中心に助言、相談をしやすい体制づくり。

7-3-4 調理職員研修

園児や利用者にとって、食事やおやつは大きな楽しみの一つである。保育士や介護職員との連携を密に、出来るだけ家庭的な内容を心掛ける。

- 献立や調理方法の工夫
- 他施設との連携や創意工夫
- 保育士・保育教諭や介護職員との連携に関わること
- アレルギー児への対応・献立の工夫(誰もが食べれる食事)
- クッキングの立案実施(施設対応)

7-3-5 看護職員研修

看護師は、園児・利用者の健康管理を中心に、看護保育（保育看護）などの対応に関して取り組みを行うこととしたい。

- 保育士・介護職員と連携した質の向上（ケースステディ等の活用）
- 全国病児施設協議会をはじめ関係団体の研修への取り組み
- 地元医師会、公立病院との連携に関する研修
- 嘱託医との連携による専門性の向上
- 病児病後児保育事業の改善(手続き、中身の見直し)

8. 収益事業

平成 26 年度に取得した土地・建物（豊岡市泉町）に関して、平成 27 年度後半より、一部を私立学校および教育・情報関連会社への賃貸業務を開始したが、当該地においては、豊岡市との協議を踏まえ、2019 年 4 月スプリングハウス保育園を開園予定となっている。

また、チャイルドハウス保育園の隣接地の購入打診があり、こども園移行に向けた取り組みの一環として検討すると共に、同敷地内にあるマンションについても運用可能性が求められていることから、併せて検討を進めることとしたい。

9. 新規事業・大規模修繕・環境整備について

施設整備については、随時改善、改修を加え安心・安全な環境整備の充実を図ることとする。主な課題と取り組みを掲げる。

外部不審者への対応、セキュリティの強化、駐車に関する注意喚起などを積極的に行うと共に、園庭・農園等の一層の整備・充実を考えている。

新規事業に関しては、対外折衝も必要であり、タイミング等の問題もあることから、随時進行、推進することとしたい。

9-1 豊岡エリア

- ① チャイルドハウス保育園のこども園移行に向けた取り組み。
- ② 児童複合施設(小規模保育園、放課後児童クラブ、子育て支援センター等)
- ③ 児童館、妊婦の子育て相談などへの取り組みの具体化を検討する。
- ④ 婚活など地域のコミュニティへの積極的な関わりを行う。
(②③④についてはスマイリーハウス保育園、スプリングハウス保育園、キッズガーデンと子育て支援センターの活用)
- ⑤ その他

9-2 阪神エリア

- ① 村雨こども園なぎさ分園（仮称）新設工事
- ② 神戸周辺エリアでの活動展開（新園、分館、児童館等）

- ③ 阪神各市町での取り組み
- ④ その他

9-3 首都圏エリア

- ① 東京都内での保育園等設置に対する具体的な調査、検討
- ② その他

10. サンタ（多機能・多施設・多地域）への取り組み（基盤整備）

平成から新たな年号への移行期において、本法人としても平成26年度より開始しているサンタ（多機能・多施設・多機能）の取り組みのなお一層の充実が求められる。社会福祉法人の抜本的な改革に基づき、法人の機能、役割が変化すると共に、施設での業務内容の見直しを行い、業務の改善に努める。

情報共有を基本に、中長期計画の策定、後継者時育成などを一つ一つの事案について、丁寧に取り組みを行いたい。

260名超の役職員が、多地域で10か所を超える施設の経営を推進していく為の環境整備、業務改善を行い、職員が働き甲斐、やりがいを持てる法人としての確固たる存在となるような取り組みが重要になってきている。

保育・教育力の向上を基本に、地道な活動展開、一人ひとりの職員の資質向上を図り、一人ひとりの役割を認識しながら、チームとしてなお一層力を発揮するための諸施策、計画の実施を行う所存です。

職員は一人ひとりの園児・児童・保護者を大切に、法人は職員一人ひとりを大切に、職員それぞれ自主的に行動し、やりがいのある環境を創造し、その成果として、「こどもと家庭、地域が笑顔と幸せでつまれますように・・・」

11. 施設概要・目標

11-1 豊岡エリア

11-1-1 チャイルドハウス保育園

1. 児童関連

① 保育方針

- ・一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、成長過程に応じた、きめ細かく丁寧な保育を提供する。
- ・子どもたちが、健康で安心、安全に過ごすことが出来る環境を整える。
- ・保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものより良い成長につなげていく。
- ・やりがいを大切に、常に専門性の向上を図りながら、保育にあたる。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	6名
1歳児	11名
2歳児	9名
3歳児	56名
4歳児	50名
5歳児	44名
合計	176名

③主な行事予定

4月	入園式・春の遠足
5月	保護者会総会・保育参観・内科健診
6月	歯科検診・プール開き
7月	夏まつり
8月	お泊り保育（5歳児）
9月	
10月	いも掘り遠足（3～5歳児）・運動会・内科健診
11月	保育参加・個別懇談会
12月	クリスマス会・もちつき大会（3～5歳児）
1月	
2月	発表会（2、3歳児）（4、5歳児）
3月	お別れ遠足（4、5歳児）・卒園式

④給食関係(特色ある取組等)

- 一汁三菜
- アレルギー除去食・病児食・離乳食
- 米作り（5歳児）
- 農園・プランターでの野菜作り（3、4歳児）
- クッキング（味噌づくりなど）

2. 職員関連

①職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
副主任保育士	3名
保育士	19名
保育補助者	2名
調理員(栄養士含む)	4名

看護師	5 名
その他	1 名
合計	36 名

②研修計画

- キャリアアップ研修
- 不審者研修
- 救急蘇生法研修
- 消火器研修

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数(月)	120 名
-----------	-------

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
子育て支援センター「チャイルドハウス」 ワンダーメイト	44 回

③病児、病後児保育事業

受入予定者数(月)	35 名
-----------	------

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 毎月1回 避難訓練

1 1 - 1 - 2 テラスハウス保育園

1. 児童関連

①保育方針

安心・安全のもと、一人ひとりの成長に応じた丁寧な保育・保護者支援を行います。

②クラス編成予定

	予定園児数
0 歳児	12 名
1 歳児	22 名
2 歳児	24 名
合計	58 名

②主な行事予定

4 月	入園式 春の親子遠足
5 月	保護者会総会・保育参加
6 月	プール開き

7月	夏まつり会
8月	
9月	園外保育
10月	運動会
11月	保育参加 個別懇談会
12月	クリスマス会
1月	お正月遊びを楽しもう
2月	2歳児発表会 節分の会
3月	修了式

③給食関係(特色ある取組等)

- 行事食の提供・行事・旬の食べ物を使ったクッキング
- 菜園づくり
- 食育活動(食べ物への関心を深めるための話等)

2. 職員関連

①職員構成

園長	1 名
主任保育士	1 名
保育士	16 名
保育補助者	1 名
調理員(栄養士含む)	2 名
看護師	1 名
合計	22 名

②研修計画

- 4園合同研修会(偶数月)
- 職員会議前研修(実技研修・外部研修報告)
- 外部講師研修(乳児保育等)

3. 特別保育事業

事業内容	年間開催予定回数
公開保育	10回(5～2月毎月1回)

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 引き渡し訓練の実施
- 不審者研修・心肺蘇生法研修
- アレルギー研修

5. その他（環境整備等）

園庭遊具設置 園用外靴靴箱（大人用）廊下フック設置 2階廊下空調

1 1 - 1 - 3 スマイリーハウス保育園

1. 児童関連

①保育方針

- *一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、きめ細かく丁寧な保育の提供
- *子ども達が、信頼で安心安全に遊びこむことが出来る環境を整える
- *保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものより良い成長につなげていく
- *やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら、保育にあたる

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	5名
1歳児	8名
2歳児	8名
合計	21名

③主な行事予定

4月	入園式 春の遠足
5月	保育参観
6月	プール開き
7月	夏祭り プール遊び
8月	プール遊び
9月	引き渡し訓練
10月	運動会 ハロウィン
11月	保育参加 個別懇談
12月	クリスマス会
1月	お正月遊び
2月	2. 3歳発表会 節分の会
3月	ひな祭り会 修了式

④給食関係(特色ある取組等)

- 一汁三菜
- 地産地消
- 手作りおやつ

2. 職員関連

①職員構成

園長	1名
----	----

保育士	9 名
保育補助者	1 名
調理員(栄養士含む)	2 名
看護師	1 名
合計	11 名

②研修計画

- 園内研修（保育実技、公開保育、ピアノ研修他）の取り組みの充実
- 外部研修（保育、給食、看護関係）へ常勤、非常勤関係なく参加できる環境

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数(月)	60 名
-----------	------

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
わくわくの森（地域の人が自由に利用）	
わくわくの森（年齢に応じて親子活動）	46 回
わくわくの森（交流会や催し他）	6 回

③その他事業

園開放（行事に参加してもらう）年5回予定

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 避難訓練（消火器訓練）月1回
- 引き渡し訓練（年1回）
- 大岡学園との合同避難訓練

5. その他（環境整備等）

①玄関モニター設置

②園庭（芝生）整備（遊具、ベンチ設置、砂場の補充）キッズガーデンと共同

③乾燥機設置

11-1-4 スプリングハウス保育園(2019年4月開園)

1. 児童関連

①保育方針

- *一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、きめ細かく丁寧な保育の提供
- *子ども達が、信頼で安心安全に遊びこむことが出来る環境を整える
- *保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものより良い成長につなげていく
- *やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら、保育にあたる

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	3名
1歳児	8名
2歳児	6名
合計	17名

③主な行事予定

4月	入園式 春の遠足
5月	保育参観
6月	プール開き
7月	夏祭り プール遊び
8月	プール遊び
9月	引き渡し訓練
10月	運動会 ハロウィン
11月	保育参加 個別懇談
12月	クリスマス会
1月	お正月遊び
2月	2、3歳発表会 節分の会
3月	ひな祭り会 修了式

④給食関係(特色ある取組等)

- 一汁三菜
- 地産地消
- 手作りおやつ

2. 職員関連

①職員構成

園長	1名
保育士	6名
保育補助者	2名
調理員(栄養士含む)	1名
合計	10名

②研修計画

- 園内研修(保育実技、公開保育、ピアノ研修他)の取り組みの充実
- 外部研修(保育、給食、看護関係)へ常勤、非常勤関係なく参加できる環境

3. 特別保育事業

園開放(行事に参加してもらう)年5回予定

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 避難訓練(消火器訓練) 月1回
- 引き渡し訓練(年1回)

5. その他(環境整備等)

- ① 玄関モニター設置
- ② 園庭整備

1 1 - 1 - 5 放課後児童クラブ「キッズガーデン」

1. 児童関連

① 保育方針

・家庭的な雰囲気の中で、遊んで学ぶ子どものひろば

② クラス編成予定

	予定児童数
1年生	20 名
2年生	6 名
3年生	19 名
4年生	9 名
5年生	4 名
6年生	3 名
合計	61 名

③ 主な行事予定

4月	はじめまして会
5月	途中が丘公園遠足
6月	子どもの館遠足(姫路市)
7月	陶芸教室・円山川プール・ヒメハナ公園遠足
8月	磯遊び・お泊り会・但馬牧場公園遠足・鳥取こどもの国遠足
9月	ななえの学校
10月	りんご狩り遠足・ハロウィンパーティー
11月	スケート遠足①
12月	スケート遠足②・クリスマス会・運動遊び
1月	ななえの学校
2月	スキー遠足
3月	お別れ遠足

2. 職員関連

① 職員構成

施設長兼指導員	1 名
---------	-----

指導員	1 名
その他職員	3 名
合計	5 名

②研修計画

- 放課後児童支援員認定資格研修
- ピアノ研修

3. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 駐車場ブロック塀撤去
- 防護ネット設置

1 1 - 2 阪神エリア

1 1 - 2 - 1 村雨こども園・村雨こども園愛分園

1. 児童関連

①教育保育方針

- ・ひとり一人の子どもの気持ちを十分に受けとめ、人との関りを大切に
した丁寧な教育・保育に努めます

②クラス編成予定

	本 園		分園	本園・分園合計
	1号認定園児予定数	2・3号認定園児予定数	2・3号認定園児予定数	
0歳児		15名	6名	21名
1歳児		20名	6名	26名
2歳児		25名		25名
3歳児	4名	30名		34名
4歳児	4名	30名		34名
5歳児	6名	24名		30名
合計	14名	144名	12名	170名

③主な行事予定

4月	始業式 入園式
5月	保育参加 5歳児交流会
6月	個別懇談 プラネタリウム見学
7月	七夕会 プール開き 夏まつり オープン保育
8月	プール 福祉ボランティア体験受入れ
9月	デイサービス高齢者交流会
10月	運動会 芋ほり遠足 5歳児交流会
11月	敬老交流会 秋の遠足
12月	おおきくなったよ(0,1歳児発表会) クリスマス会とバイキング

1月	伝承遊び 劇団鑑賞会
2月	豆まき 音楽会・生活発表会(2, 3, 4, 5歳児) 山登り
3月	卒園式 ひなまつり会 お別れ遠足 お別れ会とバイキング

④給食関係(特色ある取組等)

- 屋上庭園で作物栽培と収穫。収穫作物の休職提供やクッキング保育の実施
- ランチデイ(行事食)の実施
- 食にふれる食育活動

2. 職員関連

①職員構成

園長	1 名
主幹保育教諭	2 名
副主幹保育教諭	1 名
保育教諭	35 名
調理員(栄養士含む)	5 名
事務員・園務員	1 名
合計	45 名

②研修計画

- 乳幼児期の教育及び保育の質の向上をめざす「キャリアアップ研修」の推進
- キャリアアップ研修と園内研修の往還による組織的な保育力の向上
- 働きやすい職場環境を構築するための研修体系

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数(月)	60 名
-----------	------

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
着ぐるみ人形劇	1回
こども園行事体験 (七夕会・クリスマス会・ひなまつり会)	各1回
水遊び	3回
子育て相談	月曜日～金曜日
園庭開放	毎週月曜日

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 避難訓練計画実施(火災・地震・津波・不審者)
- アレルギー児緊急対応訓練

○ 睡眠時における SIDS 対応訓練

5. その他（環境整備等）

- ・0、1 歳児保育室整備
- ・床ワックス掛け
- ・1F エントランス扉の改修整備

1 1 - 2 - 2 村雨ほほえみ保育園

1. 児童関連

①保育方針

- ・一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、丁寧な関わりと成長過程を大切にしたい保育をおこなう。

②クラス編成予定

	予定園児数
0 歳児	6 名
1 歳児	6 名
2 歳児	7 名
合計	19 名

③主な行事予定

4 月	入園式（村雨こども園と合同）
5 月	保育参加
6 月	個別懇談
7 月	オープン保育 プール遊び七夕
8 月	プール遊び 夏祭り
9 月	
10 月	運動会（村雨こども園と合同）
11 月	敬老交流会
12 月	クリスマス会
1 月	
2 月	発表会 豆まき
3 月	お別れ会 ひなまつり

④給食関係（特色ある取組等）

- 村雨こども園と連携し環境に応じた食育を実施

2. 職員関連

①職員構成

管理者	1 名
主任保育士	1 名

保育士	6名
子育て支援員	1名
調理員(栄養士含む)	1名
合計	9名

②研修計画

- 遊びや音楽等の保育内容に関わる研修への参加
- 保護者対応等の子どもを取巻く環境に関わる研修への参加
- 研修参加回数の増加

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数(月)	30名
-----------	-----

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 避難訓練計画
- 睡眠時における緊急事態発生時対応訓練
- 大ケガ発生時対応訓練

5. その他(環境整備等)

- ・玩具・物品を整備し、戸外遊びの場として駐車場の活用を図る

1 1 - 2 - 3 松風児童館・松風児童館分館

1. 児童関連

①保育方針

- ・家庭的なぬくもりを大切にしながら、子ども同士の関わり、ふれあいを通じて、楽しく生活し遊べる放課後児童クラブを目指します。

②学年編成予定

	予定児童数		
1年生	本館 33名	分館 15名	48名
2年生	本館 33名	分館 7名	40名
3年生	本館 24名	分館 10名	34名
4年生	本館 13名	分館 1名	14名
5年生	本館 3名	分館 5名	8名
6年生	本館 2名		2名
合計	本館 108名	分館 38名	146名

③主な行事予定

4月	学童入所式・進級式
5月	すくすく開講式 こどもフェスタ参加

6月	学童保護者会
7月	学童個人懇談
8月	源平夏祭り参加
9月	グリーンフェスタ参加
10月	ハロウィンパーティー
11月	
12月	クリスマス会 学童入会説明会
1月	
2月	敬老交流会
3月	すくすく修了式 敬老茶話会 学童お別れ遠足

2. 職員関連

①職員構成

施設長	1 名
指導員	2 名
その他職員(指導員補助を含む)	7 名
合計	10 名

②研修計画

- 育成検討会(月1回)
- 館外の研修への積極的参加

3. 特別保育事業

①子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
なかよしひろば	28回
ベビーメイト	33回
ヨチヨチメイト	33回
すこやかクラブ	33回

②その他事業

親子向け 絵本の貸し出し

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 小学生向け 毎月の防犯防災指導
- 子育て支援親子向けの避難訓練

5. その他(環境整備等)

- 子育て支援用おもちゃの充実(ボールプール等)
- 学童数の増加に伴い、おもちゃや整理棚などを検討する

- 図書コーナーの整備
- テーブルやおやつの食器等の点検・数の見直し

1 1 - 3 首都圏エリア

1 1 - 3 - 1 諏訪ひかり保育園

1. 児童関連

①保育方針

- ・一人ひとりの子どもの家庭環境・発達に配慮し、ふさわしい活動の場を保障し、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- ・心と体の自立を促し、生きる力をつける。
- ・保護者とのコミュニケーションを密にとり、子どもの育ちに共感し合いながら、子育て・親育ちを行う。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	8名
1歳児	15名
2歳児	18名
3歳児	18名
4歳児	18名
5歳児	18名
合計	95名

③主な行事予定

4月	入園式 進級式
5月	子どもの日 春の親子遠足 内科検診 保育士体験
6月	じゃがいも掘り 歯科検診 保育士体験
7月	七夕まつり プール開き お泊り保育 夏祭り 保育士体験
8月	卒園児交流会 引き取り訓練
9月	
10月	運動会 いもほり 秋の遠足
11月	内科検診
12月	発表会(2~5歳児) クリスマス会
1月	もちつき
2月	節分 クラス参観(0、1歳児)
3月	ひな祭り お別れ遠足 お別れ会 卒園式

④給食関係(特色ある取組等)

- 収穫した野菜を使い、食材を五感で感じるクッキング
- マナーレストラン
- 地域の方との味噌づくり 芋煮会

2. 職員関連

①職員構成

園長	1名
副園長	1名
主任保育士	1名
保育士	19名
調理員(栄養士含む)	3名
看護師	2名
用務員 事務員	3名
合計	31名

②研修計画

- ディズニーアカデミー
- 埼玉県キャリアアップ研修
- 園内研修の実施（保育指針・手話・保健衛生・救急救命等）

3. 特別保育事業

①子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
あそぼう会(誕生日)	12回

②病児、病後児保育事業

受入予定者数	200名
--------	------

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 避難訓練(火災・地震・竜巻・不審者対応) 消火訓練 年12回
- 和光市引き取り訓練 年1回
- 交通安全教室・救命救急講習・不審者講習・消防訓練 各年1回
- 消防点検 年2回

5. その他(環境整備等)

- ・園庭整備(砂入れ、外壁目隠し等)
- ・空調清掃
- ・乳児保育室の保育環境整備

11-3-2 さいたま保育園(独立行政法人国立病院機構埼玉病院院内保育園)

1. 児童関連

①保育方針

- ・子ども一人ひとりの自立を促し、意欲や協調性を育てる。
- ・異年齢保育を通してともに育ちあえる環境を整える。

- ・子どもが過ごしやすい、家庭的な雰囲気を作る。
- ・個々の生活状況を把握し、子どもの情緒の安定を図る。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	6名
1歳児	30名
2歳児	24名
3歳児	12名
4歳児	
5歳児	
合計	72名

③主な行事予定

4月	お花見会 懇談会
5月	こどもの日集会 保護者会 小遠足
6月	園児健診 ジャがいも堀り 個人面談(6月～8月)
7月	七夕まつり プール開き 個人面談(6月～8月)
8月	プール遊び 夏祭り 個人面談(6月～8月)
9月	親子レク
10月	バス遠足 ハロウィンパーティー
11月	
12月	クリスマス会 園児健診
1月	
2月	節分豆まき 懇談会
3月	ひな祭り お別れ会 お別れバス遠足

④給食関係(特色ある取組等)

- クッキング
- プランターで育てた野菜を使ったクッキング

2. 職員関連

①職員構成

施設長	1名
保育士	15名
子育て支援員	4名
保育補助	2名
調理員(栄養士含む)	3名
合計	25名

②研修計画

- ディズニー研修、救命講習

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数(月)	10 名
-----------	------

4. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 月1回避難訓練(地震、火災、不審者)

5. その他(環境整備等)

2019年4月より定員を72名に増やして運営予定である。その為地域枠も16名から20名へ変更予定。

1 1 - 3 - 3 こじか保育園(独立行政法人国立病院機構下志津病院院内保育園)

1. 児童関連

①保育方針

(1)一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受けとめ、丁寧な関わりと成長過程を大切にした保育を行います。

(2)子ども達が、健康で安全に過ごせる環境や生活の中で、意欲的に活動し、自主的に遊べる環境を整えます。

(3)家庭での子育てへの思い、考えを十分に認め合い、お互いの理解の上で信頼関係を築き、連携を取りながら力を合わせ、共に育てていく姿勢を大切にして、子どものより良い成長につなげていきます。

(4)職員のチームワーク・連携を密にし、全ての職員が一人ひとりの子どもを見守り把握に努めます。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	8 名
1歳児	10 名
2歳児	9 名
3歳児	5 名
4歳児	7 名
5歳児	4 名
合計	43 名

③主な行事予定

4月	進級式 保護者会
5月	子どもの日 親子遠足
6月	そらまめ収穫 園児健康診断

7月	七夕 プール開き ジャがいも掘り
8月	こじか祭 カレーパーティー
9月	十五夜 保護者会
10月	十三夜 運動会 さつまいも掘り
11月	保育参観 秋の遠足
12月	クリスマス会 大掃除 園児健康診断
1月	七草粥 焼き芋
2月	節分
3月	卒園式 ひな祭り お別れ遠足 お別れ会食 保護者会

④給食関係(特色ある取組等)

- 毎月の季節に合わせたクッキングや行事食
- 畑での野菜栽培と収穫
- 3食ボードの活用 ハテナBOX

2. 職員関連

①職員構成

園長(施設長)	1名
保育士	11名
調理員(栄養士含む)	2名
用務員・子育て支援員	3名
合計	17名

②研修計画

- 明徳大学教授による園内研修
- 保育安全研修(企業主導型保育事業)

3. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- マニュアル研修(事故や感染症)
- ヒヤリ・ハットの共有
- 避難訓練の実施、消防署と連携した訓練

4. その他(環境整備等)

- 避難車(散歩兼用)のカバー張替え
- 各クラス、園内のチェックリストの再確認

1 1 - 3 - 4 つくしんぼ保育所(国立国際医療センター国府台病院院内保育所)

1. 児童関連

①保育方針

一人ひとりに寄り添った保育と発達を保障し、集団の中で社会性を育てる

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	6名
1歳児	12名
2歳児	9名
3歳児	6名
4歳児	7名
5歳児	7
合計	47名

③主な行事予定

4月	入所式
5月	こどもの日 春の遠足
6月	プール開き ジャがいも掘り
7月	お泊り会(4・5歳児)
8月	
9月	秋祭り
10月	運動会 さつまいも掘り
11月	
12月	生活発表会 クリスマス会
1月	お餅つき お店屋さんごっこ
2月	節分
3月	ひな祭り 卒所式 お別れ会

④給食関係(特色ある取組等)

- 自然を取り入れたクッキング
- 学びの食育(教材を使って食と健康について知る)

2. 職員関連

①職員構成

所長	1名
保育士	10名
子育て支援員	2名
調理員(栄養士含む)	2名
合計	15名

②研修計画

- リズムについて(園内研修)
- ふれあい遊び研修

3. 安全管理(避難訓練、安全教育等計画)

- 新園舎になり、避難経路等の再確認を園内研修として行う